

持続可能な森林経営と多様で豊かな森林づくりに向けて

＜熊本県森林・林業・木材産業基本計画の概要＞



令和3年(2021年)2月
熊 本 県

喫緊の課題への対応に向けて主に以下の施策に取り組みます！

1 令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興に向けて

甚大な被害をもたした令和2年7月豪雨災害からの早期復旧・復興に向け、以下の施策に全力で取り組みます。

○山地災害の早期復旧と治山施設の整備

- ・山地崩壊等の早期復旧に取り組み、被災地域の一日も早い復旧を目指します。

○林業施設等の早期復旧

- ・林業活動の早期再開に向け、林道等の生産基盤の復旧を着実に進めます。
- ・木材加工施設等の復旧について、効率的な生産活動が続けられるよう丁寧支援します。



球磨村森林組合製材工場（濁流流入状況）



芦北町湯治（国道、鉄道沿線の山腹崩壊）



がんばるけん！

くまもとけん！

○奥山への広葉樹の導入など多様で健全な災害に強い森づくり

- ・森林の持つ公益的機能の維持増進に向け、被災地域における更なる森林整備を推進します。
- ・自然状況等に応じ、針広混交林化を推進するとともに、危険木の除去など流木発生の抑制に向けて取り組みます。



森林整備



適切に整備された森林

○ “緑の雇用” の創出に向けた森林資源のフル活用

- ・ 産業と生活を支え、森林整備につながる林道等の整備を推進します。
- ・ 林業の省力化・生産性の向上に向けたスマート林業技術の推進、早生樹の導入による林業の生産サイクルの短縮等に取り組みます。



- ・ 製材工場等の新設・拡充を行い、住まいや街並み再建等における地域材利用を推進します。
- ・ 豊かな森林資源を活用し、新たな森林サービス産業の創出に取り組みます。



2 新型コロナウイルス感染症など社会情勢変化への対応

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、状況に応じた柔軟な施策を展開することで、持続可能な森林経営等の実現に取り組みます。

○木材の需給に応じた森林整備の推進など、林業従事者の雇用を確保・維持する取組みを進めます。また、原木の需給動向等を注視し、関係者間で適時に情報共有することで需要に即した木材生産を促します。

○新たな生活様式に資する木製品導入等に対する支援や、公共性の高い施設等における木質化等を推進します。

喫緊の課題への対応と併せて
くまもとの森林・林業・木材産業の持続的発展に向け、
次に示す4つの施策を実践していきます。



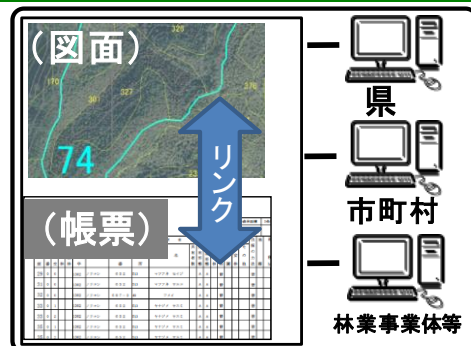
施策1 森林資源の持続的な利用による稼げる林業の実現

本県の森林資源は成熟期を迎えています。SDGsやカーボンニュートラルの目標達成のためにも、これらの資源を適切に管理し、森林資源の循環利用を確立させながら効率的かつ安定的な森林経営に向けた取組みを推進します。

主な取組み

集約化による効率的な森林経営の確立

- 森林施業や路網整備等が計画的・効率的に実施できるよう森林経営計画の作成を推進します。
- 森林施業の基盤となる森林関連情報の整備を行い、森林クラウドシステム等を活用することにより、市町村等との情報共有や連携強化を図ります。



森林クラウドシステムイメージ

スマート林業技術導入などによる林業生産性の向上

- 森林整備等における省力化や生産性の向上を図るためスマート林業技術の導入を推進します。
- 森林資源が充実し経営管理の集約化等が見込まれる地域を中心に、林道等の路網整備を推進します。



循環利用のための再造林の着実な実施

- 経営林における再造林を着実に推進します。
また、造林コストの低減に向けた作業システムやエリートツリーの普及や、センダン等の早生樹の導入を促進します。



特用林産物の生産振興

- 生産体制・加工施設等の整備を支援し、首都圏等における販路拡大に向けた取組みや、地域食材としての消費拡大を推進します。



施策2 林業を支える“山の人財”づくり

高齢化や過疎化の進行等により林業の担い手不足は依然として深刻な状況にあります。くまもと林業大学校を核として、“くまもとの森林を守り育てる”多様で技術力の高い人材確保に向けた取組みを加速化します。

主な取組み

くまもと林業大学校を核とした新たな林業担い手の確保・育成

〇くまもと林業大学校で、即戦力となる新たな林業担い手を育成します。また、林業就業者、林業経営者、自伐林家、高校生など多様な方々に向けたカリキュラムを設け“くまもとの森林を守り育てる”多様な人財の確保・育成を推進します。

くまもと林業大学校

平成31年（2019年）4月に九州では初となる「くまもと林業大学校」を開校しました。阿蘇・上益城地域を中心とした県北校と県南地域を中心とした県南校があります。



県北校（熊本県林業研究・研修センター）



県南校（五木村役場）



県北校（阿蘇・上益城地域のフィールドを中心）



県南校（県南地域のフィールドを中心）

新たな林業担い手の確保

〇新たな林業担い手の確保に向け、（公財）熊本県林業従事者育成基金と連携し、林業の魅力について広くPRするとともに、森林の仕事ガイダンス等によるリクルート活動を推進します。



森林の仕事ガイダンス相談ブース

施策3 県産木材の利活用の最大化

公共建築物等木材利用促進法や建築基準法の一部改正等により都市の木造化を進める機運が高まっています。中大規模建築物や住宅への木材利用を促進するとともに、木材の輸出、木質バイオマス等の新たな木材利用を推進します。また、需要に応じた木材の安定供給体制構築に向けた取組みを推進します。

主な取組み

建築分野における木材の需要拡大と市場に応じた木材供給体制の整備

○森林資源の成熟に伴い樹木の大径化が進む中、県産大径材の活用を推進します。また、需要に応じ品質性能の確かな木材を安定供給するサプライチェーンの構築を図ります。

○中大規模木造建築物の普及を図るための相談窓口を設置します。併せて、建築士の木材利用に対する理解醸成等に向けた取組みを推進します。



大型木材加工施設



天草市複合施設こいらす

木材輸出や木質バイオマスなど新たな木材需要拡大

○商談会への参加や製材品の輸出促進に向けた取組みを推進し、輸出増加を目指します。

○木質バイオマス発電所等における木質バイオマス利用が適切に推進されるよう取り組みます。



輸出用に集積された原木



木質バイオマス発電所

木材利用に向けた理解の醸成

○商業施設や景観づくりにおける木造化・木質化など、街中に多くの木材を利用する取組みを推進します。

○木材に対する親しみや、木の文化への理解を深めてもらうため、幅広い県民を対象とした木育活動を推進します。



木育の取組み

施策4 防災・減災や地球温暖化防止等に寄与する多様で健全な森林づくり

森林の有する公益的機能の維持・増進のため、間伐等の森林整備、獣害対策、現場の課題解決に向けた研究等を推進します。併せて、団体・企業等による森林ボランティア等の活動を支援し県民参加による森林づくりを推進します。

また、近年、地震や集中豪雨等による自然災害が多発化・激甚化する中、国土強靱化に向けた効果的な治山対策に取り組みます。

主な取り組み

適正な森林管理の推進

- 水とみどりの森づくり税も活用しながらに間伐や植林等の森林整備を推進します。
- 市町村における森林経営管理制度の円滑な運用に向けた支援を行い、経営管理がなされていない森林の整備を推進します。



県民の安全・安心のための森林づくりの推進

- 山地災害危険地区の危険度ランクや着手状況等を考慮し、荒廃山地等の復旧・予防対策、機能強化・老朽化対策や流木対策などを推進します。
- 公益的機能が著しく低下した保安林については、植栽や本数調整伐等の手入れを実施します。



森林病虫獣害対策等の推進

- シカによる樹木の食害や剥皮被害は、林業に多大な影響を与えています。また、裸地化による森林の公益的機能の低下も危惧されていることから、捕獲の推進に向けて関係機関と連携した被害防止対策を推進します。



県民参加の森林づくりの推進

- 企業や団体等による森林ボランティアや森づくり活動を支援します。また、地球温暖化防止機能や水源涵養機能など森林の重要性についてあらゆる機会を捉え広く普及します。



併せて、多様な現場の課題に対し、研究、技術開発、普及を行い施策の推進を図ります。

前述の主な取組みを含め本県の森林・林業・木材産業施策の方向性や取組み内容は以下のとおりです。

「喫緊の課題に向けた対応」

令和2年7月豪雨災害、新型コロナウイルス感染症からの回復



- 1 令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興
- 2 新型コロナウイルス感染症による影響への対応

「森林・林業・木材産業の発展に向けた施策の展開」

持続可能な森林経営と多様で豊かな森林づくりに向けて



- 1 森林資源の持続的な利用による稼げる林業の実現
 - ① 集約化による効率的な森林経営の確立
 - ② スマート林業技術導入などによる林業生産性の向上
 - ③ 循環利用のための再造林の着実な実施
 - ④ 特用林産物の生産振興
- 2 林業を支える“山の人財”づくり
 - ① 担い手の確保・育成

「森林・林業・木材産業の発展に向けた施策の展開」

持続可能な森林経営と多様で豊かな森林づくりに向けて

3 県産木材の利活用の最大化

- ① 建築分野における木材の需要拡大
- ② 木材輸出や木質バイオマスなどにおける需要拡大
- ③ 市場のニーズに応じた木材供給体制の整備
- ④ 県民総ぐるみによる木材利用に向けた理解の醸成

4 防災・減災や地球温暖化防止等に寄与する多様で健全な森林づくり

- ① 多面的機能の発揮に向けた適正な森林管理の推進
- ② 県民の安全・安心のための森林づくりの推進
- ③ 森林病虫獣害対策等の推進
- ④ 県民参加の森林づくりの推進
- ⑤ 森林の多面的機能を支える研究・技術開発と普及の推進



森林・林業・木材産業基本計画の施策指標

項目	基準年 (R 1)	目標年 (R 5)
素材生産量 (万m3)	119	140
経営・管理がなされている人工林面積 の割合 (%)	55	66
森林の所有権移転を受けようとする 林業経営者の登録数 (者)	-	50
スマート林業技術等の普及率 (%)	0	15
路網密度 (m/ha)	60.5	65.3
路網延長 (km)	14,614	15,782
資格取得者の育成数 (年間：人)	84	95
労働生産性：主伐 (m3/人日)	6.4	7.5
労働生産性：間伐 (m3/人日)	3.9	4.5
更新のうち人工造林の割合 (%)	57	70
主伐・植栽一貫作業システムによる再造林 面積 (ha)	90	320
マルチ・キャビティ・コンテナ (MC 苗) の生産本数 (万本)	106	128
乾しいたけ (t)	182	190
生しいたけ (t)	654	700
たけのこ (t)	2,863	3,000
竹材 (千束)	264	280
木竹炭 (t)	463	480
きくらげ類 (生) (t)	178	190

森林・林業・木材産業基本計画の施策指標

項目	基準年 (R 1)	目標年 (R 5)
林業従事者数（認定事業体）（人）	828	1,150
新規就業者数（人）	85	110
意欲と能力のある林業経営者として登録された森林組合の割合（％）	80	100
林業研究グループ会員数（人）	417	420
公共施設の木造率（％）	68	80
木質バイオマスのエネルギー利用量(千t)	404	505
乾燥材の出荷量(千m3)	147	167
J A S 製材品の出荷量(千m3)	21	33
木育インストラクターの認定者数(人)	284	404
間伐面積（ha）	6,241	8,000
森林総合監理士の資格取得者数(累計：人)	56	76
保安林面積（ha）	111,683	120,000
山地災害危険地区の治山事業着手率（％）	53.3	58.4
シカによる人工林被害発生推定面積(ha)	819	740
森林インストラクターの認定数(人)	243	320
県民参加の森林づくりへの参加者数(人)	7,087	10,000
研究の実用化件数（計画期間累計）（人）	-	10

発行者　：熊本県
所　属　：農林水産政策課
発行年度：令和２年度
（２０２０年度）